

2 住宅の状況

(1) 居住世帯のある住宅の割合

居住世帯の有無別住宅数をみると、平成20年の居住世帯のある住宅数は594万戸で、総住宅数の87.6%を占めている。平成15年と比較すると、51万戸(9.3%)増加している。昭和33年からの推移をみると、居住世帯のある住宅数は3.4倍に増加している。

一方、居住世帯のない住宅数は84万戸で、総住宅数の12.4%となっている。(表2)

表2 居住世帯の有無別住宅数—東京都(昭和33年～平成20年)

(単位:戸)

年次	総住宅数	居住世帯あり			居住世帯なし			
		総数	同居世帯なし	同居世帯あり	総数	一時現在者のみ	空き家	建築中
昭和33年	1 824 000	1 765 000	1 624 000	141 000	58 300	6 300	41 000	11 000
昭和38年	2 514 000	2 418 000	2 226 000	192 000	95 700	10 700	67 000	18 100
昭和43年	3 139 400	2 967 500	2 836 200	131 300	171 900	26 700	124 400	20 700
昭和48年	3 795 600	3 504 400	3 408 800	95 600	291 200	52 900	213 400	24 900
昭和53年	4 239 200	3 812 000	3 748 300	63 700	427 200	54 700	341 800	30 700
昭和58年	4 528 200	4 028 600	3 993 000	35 600	499 600	87 400	395 200	17 000
昭和63年	4 817 600	4 304 900	4 271 100	33 800	512 600	71 400	411 100	30 200
平成5年	5 299 500	4 660 300	4 619 400	40 900	639 200	87 900	527 100	24 200
平成10年	5 669 500	4 941 700	4 892 900	48 700	727 800	87 700	624 400	15 700
平成15年	6 186 000	5 434 100	5 390 400	43 700	751 900	75 300	665 400	11 200
平成20年	6 780 500	5 939 900	5 900 300	39 600	840 500	83 300	750 300	6 900
平成20年 構成比(%)	100.0	87.6	87.0	0.6	12.4	1.2	11.1	0.1

注1) 「居住世帯のある住宅」とは、世帯の生活が営まれている住宅を示す。

注2) 「居住世帯のない住宅」とは、空き家や建築中の住宅等を示す。

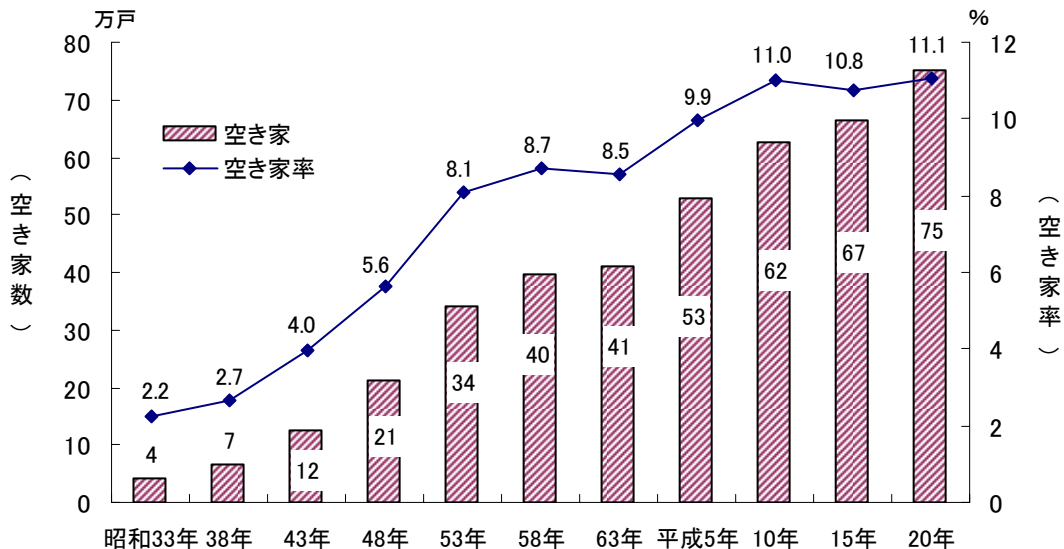
注3) 「一時現在者のみ」とは、日中のみ使用している場合や、何人かで交代で寝泊りしている場合など、ふだん居住しているものが一人もいない住宅を示す。

(2) 空き家率

平成20年の空き家数は約75万戸で、平成15年の67万戸から8万戸増加した。

また、空き家率は平成10年からほぼ横ばいである。昭和33年からの推移を見ると、空き家数は18.3倍に増加し、空き家率は8.9ポイント上昇している。(図2)

図2 空き家数及び空き家率の推移—東京都(昭和33年～平成20年)



注) 空き家率とは、総住宅数に占める空き家の割合を示す。